

1 指定管理者による自己評価

| 評価項目         | 事業計画<br>※事業計画書・業務仕様書等の<br>主な内容を記載  | 実績<br>※事業報告書・現地調査等の結果等の主な内容を記載   | 指定管理者による自己評価 |  |
|--------------|--|--|--------------|--|
| 施設維持<br>管理業務 | <b>【建物管理】</b><br>建物清掃・冷暖房設備運転管理・塵芥処理・環境衛生管理「空気環境測定・水質検査・害虫駆除・貯水清掃・排水設備清掃」                              | 平成30年4月～平成31年3月の業務委託契約(3年契約1年目)<br>建物清掃・冷暖房設備運転管理・塵芥処理・環境衛生管理「空気環境測定・水質検査・害虫駆除・貯水清掃・排水設備清掃」 9,655,200円(税込み)  | A (良)        | 指名競争入札実施による複数年契約により、前年度とほぼ同額で契約ができた。内、人件費分については過去3ヶ年同額であったため、最低賃金の上昇に伴い増額した。   |
|              | <b>【設備保守管理】</b><br>自家用電気工作物保安管理<br>エレベーター保守点検<br>冷暖房機保守点検<br>消防設備点検<br>駐車場自動精算機保守点検<br>PCネットワークシステム保守等 | 業務委託契約により実施<br>・自家用電気工作物保安管理(3年契約1年目)<br>382,320円(税込み)(平成30年4月1日～平成31年3月31日)<br>・エレベーター保守点検(3年契約1年目)<br>1,581,120円(税込み)(平成30年4月1日～平成31年3月31日)<br>・冷房機保守点検(3年契約1年目)<br>669,600円(税込み)(平成30年4月1日～平成31年3月31日)<br>・消防設備点検(3年契約1年目)<br>285,000円(税込み)(平成30年4月1日～平成31年3月31日)<br>・自動ドア、駐車場精算機保守点検(3年契約1年目)<br>409,320円(税込み)(平成30年4月1日～平成31年3月31日)<br>・予約管理システム保守等(1年契約)<br>129,600円(税込み)(平成30年4月1日～平成31年3月31日)<br>・HP保守(1年契約)<br>54,000円(税込み)(平成30年4月1日～平成31年3月31日) | A (良)        | 計画どおり適正に保守管理業務を行うことができた。   |
|              | <b>【植栽管理】</b><br>(館外)毛虫除去・低木及び高木の伐採、屋上の枯葉処理<br>(館内)共用部の緑化の取り組み   | ・美観を損なわない程度の定期的な館外植栽剪定と定期的な散水<br>・屋上の排水溝に溜まる枯葉の定期除去<br>・中庭の高木、近隣建物敷地内へ侵入している樹木枝の伐採を実施<br>・ロビー等、共用部分に観葉植物を整備し、美観及び憩いのスペース整備に努めた。  | A (良)        | ・定期的な散水等は職員で行い経費の削減を図った。<br>・中庭及び近隣建物に隣接する高木について台風による倒木被害を防ぐため業者により枝の伐採を行った。<br>・観葉植物の手入れ及び植栽への定期的な散水も職員で実施。                   |
|              | <b>【警備】</b><br>機械警備(夜間)<br>遠隔監視(毎日)  | 業務委託契約により実施<br>建物警備767,232円(税込み)(3年契約1年目)<br>平成30年4月1日～平成31年3月31日  | A (良)        | ・計画通り行うことができた。   |
|              | <b>【小規模修繕】</b><br>日常点検において、必要に応じて実施する  | 貸出備品等簡易な修繕については、経費節減の為、自前で修理を実施した。また、日常点検にて机、椅子等の不具合箇所(ボルトの緩みなど)を見つけ調整を行い、破損に到る前に対応した。   | A (良)        | 各会議室壁の汚れについては、ペンキ塗装等を自前で実施した。<br>貸出用備品等の調整、簡易修繕は自前でを行い経費削減に努めた。  |
|              | <b>【その他】</b><br>付属設備・デジタルプロジェクター・音響設備等設置補助<br>HDMI変換アダプター等導入<br>トイレ入り口扉改修<br>正面玄関スロープ防滑処理工事実施          | ホスピタリティの充実を図るため、附属設備の設置補助を積極的に行うとともに利用者から情報収集にも努めた。<br>モバイルPC等、新たな端末を用いた会議に対応するため、既存設備への接続用アダプターを導入した。<br>内部の様子がわかるよう、各階トイレの扉に明かり窓を設置。<br>また、雨天時等の転倒防止のため、正面玄関前スロープに防滑処理工事を行った。  | A (良)        | ・職員間でプロジェクター・音響設備などの取り扱い研修を行った。<br>・既存設備を活用して利用者の要望に対応できた。<br>ドア開閉による、利用者同士の事故を防止するとともに、高齢者等がスロープを利用するときなど、転倒の危険を回避し、安全を確保できた。 |

| 評価項目                  | 事業計画<br>※事業計画書・業務仕様書等の<br>主な内容を記載  | 実績<br>※事業報告書・現地調査等の結果等の主な内容を記載   | 指定管理者による自己評価   |   |
|-----------------------|--|--|--|---|
| 運営業務                  | 【開館日・開館時間等】  | ・休館日利用者のニーズに対応し、大規模利用等で全館に近い利用がある場合は、開館する等、対応した。 また、学生を対象にした自習室として会議室を開放し、新たな利用形態の紹介とセンターの周知に努めた。  | A (良)  | 大型利用については、利用者の要望に応え、利用件数向上を図った。<br>新たな利用者開拓に向けてのPRも実施   |
|                       | 【公共性・公平性の確保】   | 今年もホームページの見やすいレイアウト構成を継続したほか、随時構成をわかりやすくマイナーチェンジし最新情報の積極的な発信や空き室状況のリアルタイム更新にも努めた。<br>月初の受付開始日に抽選制度を今年度も実施し、利用者の負担軽減と公平性の確保に努めた。  | A (良)  | ・リアルタイムでの空き室状況提供により予約確定件数の増加に繋がったほか各種イベントの案内も積極的に行った。<br>・受付時の利用者に対しての負担軽減、公平性の確保ができた。  |
|                       | 【各種事業・プログラムの実施状況】<br>パンフレットの配布及びチラシ等による広報<br><br>【煉瓦ギャラリーの有効利用】<br>煉瓦ギャラリー(1~2Fロビー)の充実                               | (パンフレットの配布)<br>・館内各所に設置<br>(チラシの配布)<br>・山手5, 6丁目自治会全戸配布<br>・新聞折込広告実施<br>(その他)<br>・ファミリーパックガイドブックに広告を掲載。<br><br>① 4月 くんじろうの絵手紙 京都・大阪・神戸3教室合同展覧会<br>② 5月 時の川柳社 H29年作家賞・第38回ときせん賞 作品展<br>③ 6月 丹波市「臼井邦昭絵画教室・生徒展」(~7月末)<br>④ 8月 ~優しいお花の風~「First trip」活動展<br>⑤ 9月 ジョイフルイレブン第13回絵画展<br>⑥10月 日中交流写真展 ―シルクロードの旅より<br>⑦11月 ひょうごからの発信<br>⑧12月 外国人学校 児童・生徒作品展<br>⑨ 1月 ひょうごからの発信「新年の働き方を改革する」<br>QUIRKY by YUKI コラボレーション展<br>⑩ 2月 丹波市「臼井邦昭絵画教室・生徒展」<br>(同時開催)丹波年輪の里 第2回たんば絵てがみコンクール<br>⑪ 3月 につぼん-大使たちの視線2018写真展 | A (良)  | ・チラシ設置において山手5, 6丁目自治会の協力により全戸配布を行った。<br>・経費の節減と、中労を知ってもらう活動として大きな成果をあげた。<br>・一般紙への折込チラシを実施し、新たな企業の利用開拓に努めた。<br><br>・煉瓦ギャラリー<br>施設の特徴を最大限に活用する事業として、年間を通じて実施できた。<br>展示内容によっては情報誌等に取り上げられ、それを見た方からの問い合わせも多数あり中央労働センターの存在を県民にアピールできた。<br>新規の展示希望団体からの問い合わせもあり、ギャラリーの存在が広く知られるようになってきている。 |
|                       | 【利用者満足度調査結果】   | 利用団体対象にアンケート調査を実施し、利用者のニーズや要望の把握に努めた。  | A (良)  | アンケートの要望に対し、すぐに対応可能な事項については早急に対応する等、改善策を講じた。  |
|                       | 【その他】<br>小泉八雲の展示<br>近隣住民との交流<br>窓口対応<br>朝礼<br>社会貢献活動<br>利用者の利便性の取り組み   | 1階ロビーに展示<br>センター周辺の清掃を実施<br>利用者の立場に立ち、ホスピタリティの充実に努めた<br><br>休館日以外の毎日開催し、「ほうれんそう」に努め、全員が情報を共有出来る体制をとった<br><br>喫煙場所での携帯用灰皿の利用促進<br><br>FAX申請の充実により、利用日当日まで来館不要のシステム継続。<br>一部メールでの申請にも対応。<br>申請書のほか、関係書類を整備し手続きの簡素化に努めた。  | A (良)  | 来館者に向けての図書館の周知ができた<br>地域住民との信頼関係が築けた<br>お客様からの信頼が高まった<br>職員の意思統一・情報共有に役立っている<br><br>豪雨災害への募金(100円)を頂いた方に携帯用灰皿を提供。<br><br>例年遠方のお客様からは、大変好評である  |
|                       | 利用状況   | 【利用者数】<br>30年度利用件数見込 5,200件<br>30年度利用人員見込 353,000人   | 29年度利用件数 5,099件<br>30年度利用件数 5,316件<br>対前年度増減率 104.3%<br>29年度利用人員 351,270人<br>30年度利用人員 370,070人<br>対前年度増減率 105.4% | A (良)   |
| 【施設稼働率】<br>会議研修施設 10室 |  | H24年度から会議室が24室から10室に減少<br>29年度 利用率 49.0%<br>30年度 利用率 51.1%   | A (良)  | 新規利用団体が増え昨年度より利用率、利用件数増。<br>新たなリピーターが増えつつある。<br>夜間利用団体の開拓が課題。   |
| 収支状況                  | 【収支計画と実績の比較】<br>(収入) 税込み<br>・利用料金収入 29,299千円<br>・県指定管理収入 33,348千円<br>・共益費収入 14,138千円<br>・目的内収入 69千円<br>・企画事業収入 150千円 | (収入) 税込み<br>利用料金収入 42,060千円<br>県指定管理料収入 33,348千円<br>共益費収入 14,206千円<br>目的内収入 69千円<br>企画事業収入 123千円<br>(支出) 税込み<br>人件費 44,105千円<br>運営費 45,575千円<br>企画事業支出 144千円   | A (良)  | 収入については、計画金額を確保できた。<br>支出に関しては、台風、地震による被害が生じたが、限られた予算内での修繕を実施するため、再調査を行い仕様の見直しをするなど経費削減対策を講じて成果を出した。  |
|                       | 【経費節減に向けた取り組み】   | 節電に努め経費の削減に務めた   | A (良)  | 節電効果により、電気代が削減できた。  |
|                       | 【その他】  | -  | -  | -   |

| 評価項目 | 事業計画<br>※事業計画書・業務仕様書等の<br>主な内容を記載     | 実績<br>※事業報告書・現地調査等の結果等の主な内容を記載  | 指定管理者による自己評価 |  |
|------|---------------------------------------|---|--------------|--|
| 運営体制 | 【人員の適切な配置】<br>人員の適材適所を考慮し、配置体制の見直しを実施 | 受付業務、特に窓口対応の充実に力を注いだほか、受付後の事務処理等、職員の能力に合わせた職務への取り組み実施。  | A (良)        | 事務分掌を作成し、職員の適材適所の配置により業務の効率アップに繋がった。   |
|      | 【苦情要望等の対応体制・内容】<br>苦情要望の整理、対応         | ・利用者の苦情、クレーム対応について迅速且つ丁寧な対応を行った。<br>また、入居団体の要望等にも迅速な対応に努めた。                                     | A (良)        | 今年度も継続して毎日の朝礼で問題・課題について相互報告を行い情報の共有化を図った。必要に応じ、全体ミーティングを実施し問題解決に取り組んだ。                                   |
|      | 【危機管理体制の確保】                           | 火災、台風、地震、衛生事故の危機管理マニュアルを作成し、管理体制の確立を図った。<br>年2回の消防訓練にてAEDの講習、初期消火、避難誘導訓練の実施。<br>全職員が市民救命士講習を受講。 | A (良)        | ・台風時の対応でマニュアルに基づき行動、対応、報告が実施できた。<br>・実際に避難器具を使い高所からの避難を体験。<br>充実した消防訓練が実施出来た。                            |
|      | 【県・関係機関との連携体制】<br>・県や勤労福祉協会と連携を取る。    | ・随時、県や勤労福祉協会事務局と連絡を取り、連携を図った。また、今年度も入居団体も含めた全館での消防訓練を実施し、密接な関係づくりに努めた。<br>・県、関係機関による運営委員会を開催した。 | A (良)        | ・今後も連絡を密にし、関係機関や入居団体と密接な関係の構築に努める。<br>・運営委員会での意見をセンター運営に活かしている。(トイレ出入り口扉改修を実施。)                          |
|      | 【その他】<br>-                            | -   | -            | -  |
|      |                                       | 総合評価  | A (良)        | 利用者の立場にたった施設運営を行うとともに、改革意識を持って、日常業務に取り組めた。<br>前年に比べ利用率増。新たな利用者を開拓するなど利用率回復ができた。継続さらにはアップを目標に職員一丸となって頑張る。 |

## 2 施設所管課による総合評価

|       |      |
|-------|------|
| 総合評価値 | A(良) |
|-------|------|

|  |
|--|
| <p>業務改善に向けた分析・指導内容（成果のあった点・改善を要する点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートの結果を踏まえた改善策の実施、FAXやメールによる申請システムの運用等、利用者の利便性を向上させる施策を実行した結果、利用者の満足度向上に繋がった。パンフレットの配布等も工夫して行っており、新規利用者の開拓や、既存利用者の囲い込みに尽力し、利用者確保に努めている。</li> <li>・H31年度の実現に向けて、未だ企画段階ではあるが県庁防災企画課・神戸市と連携して災害時の一時待機施設としての役割を担うことも好意的に検討するなど、包括的な県民支援に努めている。</li> <li>・今後も県としては、施設と定期的に連絡を取り、適切な運営を行うよう指導を行うとともに、さらなる利用者サービスの向上、利用者増加への取り組み、より良好、適切な運営体制の整備を求めていく。</li> </ul> |
|--|

平成 30 年度

兵庫県立姫路労働会館

管理運営評価シート

(指定管理者:(公・財)兵庫県勤労福祉協会)

## 1 指定管理者による自己評価

| 評価項目   | 事業計画<br>※事業計画書・業務仕様書等の主な内容を記載  | 実績<br>※事業報告書・現地調査等の結果等の主な内容を記載   | 指定管理者による自己評価   |  |
|--|--|--|--|--|
| 施設維持<br>管理業務   | 【清掃】<br><br>利用者の安全で快適な利用を確保するため、日常清掃及び定期清掃を実施する。                                 | ・専門業者に業務委託した。<br>清掃員が常駐(7:30~11:30は2名、11:30~15:30は1名)し、日常清掃を実施した。<br>ビニール床シートのワックス塗布やカーペットの洗浄、ガラスサッシ等の磨き清掃などの定期清掃は利用者の妨げとならないように、休館日に実施した(3~4か月に1回)。 | A (良)  | ・計画通り適切に業務を実施できた。  |
|  | 【設備保守管理】<br><br>・日常の管理作業と並行して施設や設備の巡回点検を実施する。<br>・早期に異常を発見し、補修・修繕費用の軽減及び長寿命化を図る。 | ・専門業者に業務委託した。<br>空調設備維持管理、冷暖房運転業務、空調機械等機器整備・保守点検、給排水衛生設備点検管理、消防設備点検管理、EV保守点検、自動ドア保守点検、電気設備保守点検<br>・施設や設備の巡回点検を随時実施した。                                | A (良)  | ・年間作業計画・点検表を作成し、適正に点検及び保守を実施できた。                                     |
|  | 【植栽管理】<br><br>利用者の快適な利用を確保するため、駐車場等敷地内の植栽の剪定や雑草、落ち葉等の清掃を実施する。                    | ・電動バリカン等を活用して、剪定及び刈り込みを実施した。(年2回)<br>・落ち葉、雑草等の清掃・除草を実施した。(随時)  | A (良)  | ・職員による直接実施により経費削減を図り、計画通り適切に業務を実施し、利用者に快適環境を提供することができた。              |
|  | 【警備】<br><br>夜間機械警備(毎日)を実施する。   | 夜間機械警備を実施した。   | A (良)  | ・機械警備により、夜間の防犯業務・防災監視業務・設備異常監視業務を適正に実施できた。                           |
|  | 【小規模修繕】<br><br>日常の保守点検記録に基づき、必要に応じて実施する。   | 随時実施した。  | A (良)  | ・設置後約30年が経過しており機器の故障等修繕箇所が増えてきている。                                   |
|  | 運営業務   | 【開館日・開館時間等】<br><br>・連続利用団体への予約可能範囲拡大策をはじめ、ニーズによる開館時間への対応及び、休館日の開館等を実施する。   | ・利用者ニーズに沿って休館日を変更しての効率的営業の実施。(5月・6月・7月・9月・11月・12月・1月・2月 計8回)、また開館時間30分前には入館対応及び早朝開館(8時)も併せて実施。 | S (優)  |
| 【公共性・公平性の確保】<br><br>・HPによる最新情報の発信及び、ホール空室状況等の情報提供を行う。<br>・連合姫路地協を通じて、パンフレット等の利用チラシなどを各単組に配布する。<br>・近隣のビジネスホテルとの連携(パンフレット設置等) |  | ・随時最新情報をHPにて発信、例年利用団体に電話による誘致活動等の実施。<br>・連合姫路地協を通じて、パンフレット・チラシを各単組に配布の実施(8月・11月)   | A (良)  | ・HPの充実に努め、空室情報など最新情報をタイムリーに提供することができた。                               |
| 【各種事業・プログラムの実施状況】<br><br>・関係機関との共催事業として「川柳コンクール」を充実させて、新たな利用団体の開拓にも努める。  |  | ・第14回川柳コンクールの実施【募集:11月1日~31年1月21日 表彰式:平成31年3月19日】  | A (良)  | ・「ワーク・ライフ・バランス」にも焦点を当て、関係団体・報道機関の協力を得て広く募集を実施し、415句の応募があり、今後も継続実施する。 |
| 【利用者満足度調査結果】<br><br>・利用者へのアンケート調査を実施し、今後に反映させる計画である。   |  | ・アンケート調査を実施した(平成30年12月1日~平成31年1月31日)。  | A (良)  | ・アンケート調査の実施により附属設備等の充実に努めた。  |
| 【その他】<br><br>・利用者ニーズ等サービスの向上に努める。  |  | ・平成31年5月狭い和式便器をゆったりしたウォッシュレット付便器へとトイレの全面改修工事が終了。付属設備の充実が図られてきている。  | S (優)  | ・利用者が快適に利用できる空間を提供するなど利用者サービス向上に努めることができた。                           |

|      |   |  |       |   |
|------|---|--|-------|---|
| 利用状況 | <p>【利用者数】</p> <p>平成29年度利用件数見込み 6,300件<br/>平成29年度利用人員見込み 290,000人</p>  | <p>平成30年度利用件数 6,268件<br/>平成29年度利用件数 6,156件<br/>対前年度増減率 101.8%(1.8%増)<br/>平成30年度利用人員 290,962人<br/>平成29年度利用人員 281,136人<br/>対前年度増減率 103.5%(3.5%増)</p>                     | A (良) | <p>・昨年度に引き続き4月～5月にかけて全館トイレ全面改修工事実施に伴い、ホール及び会議室利用において利用制限を実施したが、大学入試会場として新たに誘致が成功したこと、税務署の確定申告の利用日数や利用会議室(終日)が増えた事もあり件数・利用率・利用人員が前年度と比較して増となった。</p>  |
|      | <p>【施設稼働率】</p> <p>会議研修施設 10室<br/>トレーニング室 1室</p>   | <p>平成30年度<br/>会議研修施設 54.8% トレーニング室 52.8%<br/>平成29年度<br/>会議研修施設 54.0% トレーニング室 51.0%</p>   | A (良) | <p>・全館トイレ全面改修工事実施に伴い、ホール及び会議室利用において利用制限を実施したが、職員一丸となって誘致活動の取り組み強化を実施、新たに大学入試の利用誘致が実現した事などにより件数・利用率が増となった。また、トレーニング室においては、多目的利用が可能となったことからサークル活動利用が増え前年度を上回る利用率となった。今後も、ターゲットを絞った新たな企業・大学等への営業を含め、利用誘致を積極的に進めていく必要がある。</p> |
| 収支状況 | <p>【収支計画と実績の比較】</p> <p>利用料金収入見込み額 19,122千円<br/>県指定管理料収入見込み額 15,639千円<br/>企画事業収入見込み額 163千円<br/>目的内使用料 55千円</p> | <p>収入<br/>利用料金収入 22,237千円<br/>県指定管理料収入 19,647千円(整備費除く)<br/>企画事業収入 111千円<br/>目的内使用料 55千円<br/>支出<br/>人件費 22,002千円<br/>運営費 20,022千円<br/>企画事業支出 111千円<br/>目的内使用支出 55千円</p> | S (優) | <p>・昨年度に引き続き4月～5月にかけて全館トイレ全面改修工事実施に伴い、ホール及び会議室利用において利用制限を実施したが、大学入試会場として新たに誘致が成功したこと、税務署の確定申告の利用日数や利用会議室(終日)が増えた事もあり利用料金収入が過去最高の収入増となった。</p>  |
|      | <p>【経費削減に向けた取組み】</p> <p>・見積合わせの実施<br/>・間引き消灯の実施</p>   | <p>・物品購入にあたり3社以上の見積合わせの実施<br/>・事務所内、廊下部分の間引き消灯の実施</p>  | A (良) | <p>・消耗品購入にあたり3社以上の見積合わせを実施し経費削減を図る事ができた。<br/>・昼休み、事務所照明の半灯をはじめ館内巡回を徹底し職員等の削減意識の徹底に努めた。また、トイレ全面改修による節水効果が表れ水道料金の削減を図ることができた。</p>   |
| 運営体制 | <p>【人員の適切な配置】</p> <p>・前年同様の勤務体制により、施設の充実を図る。</p>  | <p>・プロパー職員2名、嘱託職員1名、パート職員3名を配置した。</p>  | A (良) | <p>・少数精鋭主義であるが、全ての職員が全ての業務に精通し対応ができる体制を維持し、効率よく事業及び業務をおこなった。</p>  |
|      | <p>【苦情要望等の対応体制・内容】</p> <p>・アンケートを実施し意見、要望を聞く。</p>   | <p>・アンケート調査を実施した。</p>  | A (良) | <p>・アンケート調査の結果を今後の施設運営に生かす。(約9割の利用者から満足との評価を得る)</p>   |
|      | <p>【危機管理体制の確保】</p> <p>・消防訓練等より使用客の安全を確保する。</p>  | <p>・管理体制として、年2回消防訓練を実施した。</p>  | A (良) | <p>・消防訓練を年2回実施し、施設利用者の安全確保に努めた。</p>   |
|      | <p>【県・関係機関との連携体制】</p> <p>・運営委員会を継続し、各委員の専門的意見をもとにさらに充実した運営を図る。</p>  | <p>・7月24日 運営委員会を開催した。</p>  | A (良) | <p>・今後も継続実施し、良好な管理運営を図る。</p>  |
|      | <p>【その他】</p> <p>-</p>   | <p>-</p>   |       | <p>-</p>  |

|      |      |  |
|------|------|--|
| 総合評価 | A(良) | <p>・アンケート調査の実施により、附属設備等の充実を図るとともに、トイレが狭い和式便器から洋式便器へと全面改修し、利用者が快適に利用できる空間を提供するなど、利用者ニーズに沿った運営及び利用者への「おもてなし」に職員が一丸となって対応することができ、利用人数・件数・収入とも昨年度を上回る事ができた。今後も、職員一丸となって利用者の立場にたった運営に努めていきたい。</p> |
|------|------|--|

## 2 施設所管課による総合評価

|       |      |
|-------|------|
| 総合評価値 | A(良) |
|-------|------|

### 業務改善に向けた分析・指導内容（成果のあった点・改善を要する点）

- ・利用者満足度調査結果を基に、附属設備等の充実を図るとともに、利用者ニーズに応じ休館日も営業を実施するなど、サービスの向上が認められる。
- ・「お仕事川柳」の実施など、県民の文化的活動の促進につながる事業を継続的に運営している。
- ・利用者のニーズに沿ったサービスの向上に努め、利用料金収入・利用率ともに上昇傾向にあり、適正な施設管理業務が行われていると言える。
- ・県として、引き続き適正かつ必要な指導、監督に努めるとともに、利用者サービスの向上のため、良好な管理・運営の継続と、有効な広報、アンケート実施などの取り組みを求めていきたい。

平成 30 年度

但馬ドーム

管理運営評価シート

(指定管理者: (公・財)兵庫県勤労福祉協会 )

1 指定管理者による自己評価

| 評価項目         | 事業計画<br>※事業計画書・業務仕様書等の主な内容を記載  | 実績<br>※事業報告書・現地調査等の結果等の主な内容を記載  | 指定管理者による自己評価 |  |
|--------------|--|---|--------------|--|
| 施設維持<br>管理業務 | <p>【清掃】</p> <p>建物清掃（日常清掃毎日）<br/>（定期清掃四半期毎）</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画とおり実施</li> <li>・委託業者 神姫バス（4,471,200円）</li> </ul>  | A（良）         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者と連携して施設内外の美化に努めた。</li> </ul>   |
|              | <p>【設備保守管理】</p> <p>自家用電気工作物保安管理(毎月1回)、<br/>消防設備点検(総合点検年1回)<br/>(機能点検年1回)(防火対象物年1回)、<br/>給排水点検(受水槽清掃、水質検査年1<br/>回)(汚水槽清掃年2回)<br/>空調点検(ボイラー年1回)<br/>(空気調和機、全熱交換機、チラー、ファン<br/>コイル年2回)、<br/>EV点検(毎月1回)、害虫駆除(年2回)<br/>可動設備点検(開閉屋根、ピッチャーマウ<br/>ンド、可動席、スコアボード、台車)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画とおり実施</li> <li>・自家用電気工作物保安管理(570,240円) 神姫バス</li> <li>・消防設備点検(529,200円) 神姫バス</li> <li>・給排水設備点検(383,400円) 神姫バス</li> <li>・空調設備点検(464,400円) 神姫バス</li> <li>・EV保守点検(1,101,600円) 日本管財</li> <li>・害虫駆除(86,400円) 神姫バス</li> <li>・可動設備保守点検(4,644,000円) 三菱重工(株)</li> </ul> | A（良）         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委託業務年間計画に基づき、委託業者と連携を密にしながら施設及び設備の保守管理を実施し、利用者<br/>に安全で快適な施設環境の提供に努めるとともに日々の施設巡回による<br/>点検を徹底し、修繕箇所<br/>の早期発見による修繕費の削減にも努めた。</li> </ul>   |
|              | <p>【植栽管理】</p> <p>随時行う。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況により随時実施</li> <li>委託業者 豊岡市シルバー人材センター<br/>(1,265,000円)</li> </ul>   | A（良）         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業者と連携し、館の維持管理<br/>担当者の指導のもと計画的に施設内<br/>外の植栽管理を実施し、安全性の確<br/>保や景観の美化に努めた。</li> </ul>  |
|              | <p>【警備】</p> <p>機械警備（毎日）</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械警備(712,800円) 日本管財</li> </ul>  | A（良）         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間緊急連絡体制の確立や委託業<br/>者と連携して計画的に実施できた。</li> </ul>  |
|              | <p>【小規模修繕】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕箇所の早期異常の発見に努め<br/>る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の施設巡回、設備のメンテナンス点<br/>検により修繕箇所の早期発見に努め、修<br/>繕費のコスト削減に努めた。</li> <li>・大規模修繕については、金属屋根点<br/>検・補修工事、中央監視盤機器更新工<br/>事等を実施。</li> </ul>  | A（良）         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員による日々の施設巡回による<br/>点検を徹底し、修繕箇所の早期発見<br/>に努め、修繕費の軽減に努めた。</li> </ul>  |
|              | <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全柵や遊具等の日々の点検の徹底</li> <li>・雑草等の草刈り及び冬季の除雪作業を<br/>実施し、ドーム周辺の美化に努める。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第3水曜日を安全の日と設定し、安<br/>全柵や道具の点検・整備を実施。また、<br/>ドーム周辺の整備については植栽剪定及<br/>び雑草の駆除を実施し、景観の美化にも<br/>努めた。冬季の除雪作業についても委託<br/>契約を締結し、必要な時に必要な場所を除<br/>雪し利用者の交通(アクセス)面での利便性<br/>についても配慮するとともに、経費削減に<br/>も努めた。</li> </ul>  | A（良）         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館20年が経過し修繕箇所も年々増<br/>えてきている現状を踏まえ、随時メンテ<br/>ナンス腐朽箇所等、点検の強化を図っ<br/>た。<br/>・冬期においては積雪<br/>状況を把握し速やかに除雪を行い、利<br/>用者の安全・安心を第一に考え快適な<br/>環境の提供に努めた。</li> <li>・雨漏りによる大規模修繕等について<br/>は、県・市に対し、速やかな対応を協議<br/>し、整備要求等をしていく。</li> </ul> |

| 評価項目 | 事業計画<br>※事業計画書・業務仕様書等の主な内容を記載  | 実績<br>※事業報告書・現地調査等の結果等の主な内容を記載  | 指定管理者による自己評価 |   |
|------|--|---|--------------|---|
| 運営業務 | 【開館日・開館時間等】<br><br>早朝開館・休館日の変更   | ・利用が多い月4月～8月、11月については、休館日を設けず、2月の休館日には豊岡市、全但バスと連携しノーマイカーデーにちなんだグラウンド・ゴルフ大会を実施した。日程的な利用者のニーズに対応した早朝開館サービスも実施し、利用内容の充実のほか、利用者拡大に努めた。<br>・種目に応じた可動席の移動についても出来る範囲内で要望に対応した。 | S (優)        | ・早朝開館や可動席移動に関しても利用内容を考慮し、利用者のニーズに応じた柔軟な対応を実施し、満足度の高いサービスの充実に努め、利用者からは高評価を得ている。  |
|      | 【公共性・公平性の確保】<br><br>・県政記者クラブ・但馬記者クラブ(二八会)での記者発表<br>・但馬内市町広報紙掲載<br>・但馬内情報誌(スパイス、T2、FMジャンゲルマガジン等)掲載<br>・ホームページやSNSを活用して新しい情報をより早く掲載する。<br>・「但馬ドームだより」年1回発行 | ・下記のとおり積極的な情報発信に努めた。<br>・ホームページでの最新情報及びグラウンドの空き状況の提供。<br>・SNS活用による情報発信。<br>・事業の告知等、記者発表、資料配付等による新聞掲載。<br>・但馬内の情報誌に記事掲載。<br>・ラジオ及び新聞折込等で、イベント告知の情報の提供にも努めた。              | S (優)        | ・ホームページの内容充実に加え、スマートフォン等の発達に伴い、SNSの活用やリアルタイムのわかりやすい情報発信に努めた。<br>・イベントの折込チラシの実施等、積極的な情報発信にも取り組んだ。<br>・記者発表、資料配付及び広報紙への積極的な情報提供等で、掲載される事が多くなった。   |
|      | 【各種事業・プログラムの実施状況】<br><br><利用促進事業><br>・但馬ドームフェスティバル2018(春物語)5月27日 以下6事業(内容等については別紙添付)<br><自主事業><br>・但馬ドーム杯グラウンド・ゴルフ交流大会7月5日以下5事業(参考資料添付)                  | <利用促進事業><br>・但馬ドームフェスティバル2018(春物語)5月27日 以下6事業の実施(内容等については別紙参照)<br><自主事業><br>・但馬ドーム杯グラウンド・ゴルフ交流大会7月5日以下5事業の実施(内容等については別紙参照)  | S (優)        | <利用促進事業><br>開館20周年記念式典を同時開催として但馬ドームフェスティバル2018(春物語)は、多くの来賓、来場者にお越しいただき盛大に開催した。2回目となるハロウィンイベントを開催し、仮装コンテストやダンス、関係団体と連携したレイトショー、フィナーレにはLEDスカイランタンを一斉リリースを行った。<br><自主事業><br>・平日の利用促進であるグラウンド・ゴルフ推進事業は会員数3,000人を超え、今やドームの主要事業となっている。<br>・文化教室として尺八教室を行った。 |
|      | 【利用者満足度調査結果】<br><br>①アンケート調査の実施(団体利用対象)<br>②調査結果の分析と検証   | ・団体利用を対象に利用者アンケート実施。<br>期間:1月～2月<br>回答率:57団体(71.0%)<br>・利用者の施設及び備品等に関する要望等の調査をはじめ、今後の利用促進のための情報収集にも努めた。   | A (良)        | ・アンケートだけではなく、利用相談時や運営補助時に直接利用者からの施設に対する要望やニーズを把握し、満足度を高め、リピーター確保に努めた。<br>・特に早朝開館等の要望にも積極的に対応し柔軟な施設運営を実践した。  |
|      | 【その他】<br><br>・可動席移動について、職員の移動技術研修の実施等による人材育成<br>・各種スポーツ指導に係る職員研修等  | ・可動設備、特に可動席移動については、技術的な熟練も要求されるので、適時技術向上研修を実施し人材育成にも努めた。<br>・ニュースポーツの指導法やグラウンド整備、芝生管理についても研修を実施し、職員のスキルアップにも取り組んだ。<br>・利用相談の積極的な実施により、利用団体の円滑な運営、進行管理にも取り組んだ。           | A (良)        | ・利用団体と綿密な利用相談を実施し、グラウンドレイアウトや可動席の移動等、利用者ニーズに合わせた対応を実施した。<br>・利用団体の入れ替わり時にも必要に応じて整備を実施し、快適なグラウンドコンディションの提供に努めた。<br>・リピーターには利用相談の際に、より満足度の高いサービスの提供に努めた。ニュースポーツの出張指導などあらゆるニーズに対応する、地域貢献にも努めた。   |
| 利用状況 | 【利用者数】<br><br>推計入園者数 375,000人  | 推計入園者数 376,985人   | S (優)        | 今年度は開館20周年の記念事業などを行い、感動市などの大型イベントが昨年に比べ天候に恵まれ人数が増加したため、来館者数が大きく増加した。  |
|      | 【利用率】<br><br>多目的グラウンド 90%  | ・多目的グラウンド利用率 96.5%  | S (優)        | 近年利用促進に努めてきたグラウンド・ゴルフ利用や夜間の企業利用なども増加した。また職員全員で利用促進や自主事業に取り組んだことにより計画値を大きく上回った。  |



| 評価項目 | 事業計画<br>※事業計画書・業務仕様書等の主な内容を記載   | 実績<br>※事業報告書・現地調査等の結果等の主な内容を記載   | 指定管理者による自己評価 |   |
|------|---|--|--------------|---|
| 収支状況 | <p>【収支計画と実績の比較】</p> <p>(収入)税込み<br/>           利用料金収入見込額 15,000千円<br/>           利用促進事業収入見込額 2,535千円<br/>           自主事業収入見込額 5,000千円<br/>           (支出)税込み<br/>           人件費見込額 60,086千円<br/>           運営費見込額 47,422千円</p> | <p>(収入)税込み<br/>           利用料金収入額 16,775千円<br/>           利用促進事業収入額 2,248千円<br/>           自主事業収入額 4,284千円<br/>           (支出)税込み<br/>           人件費額 55,131千円<br/>           運営費額 52,109千円</p>  | A (良)        | <p>・利用料金収入としては、昨年度より継続のスポーツ以外の利用などもあり、過去最高の収入となった。<br/>           ・運営費は20周年記念事業開催にかかる費用が増加したが、暖冬により、通常より光熱水費等が減額した。</p>                               |
|      | <p>【経費節減に向けた取組み】</p> <p>①指名競争入札の業者選定方法の改善(地元業者以外県内外業者の参加等)<br/>           ②多目的グラウンド照明等の効率的運用による電気料の節減<br/>           ③水道メーターの日々計測を行い漏水防止による節減</p>   | <p>・入札基準価格以下の工事等についても数社による見積合わせを実施。消耗品等の物品購入に関しても同様とした。<br/>           ・館内巡回による無駄な電気消灯や共用部分の電球間引き及び漏水チェック等、節水にも努めた。また冬場の融雪ヒーターに係る節電にも努めた。</p>  | S (優)        | <p>・適時、指名競争入札及び数社見積合わせの実施により経費削減に努めた。<br/>           ・日々の巡回やメンテナンス点検の強化により修繕箇所の早期発見に努め、修繕費等の削減にも努めた。<br/>           ・光熱費はもちろん、全職員にコスト削減意識の徹底を図った。</p> |
|      | <p>【人員の適切な配置】</p> <p>職員配置<br/>           ・14人体制</p>   | <p>・施設の特色上、体育指導経験者を配置し多様な競技種目の指導と設営についても専門性を発揮するとともに、交代制勤務シフトによる変則的な人員配置を実施。</p>   | S (優)        | <p>・体育専門職員の活躍により、施設の特色でもあるスポーツの振興、普及に努め、生涯スポーツの実践を通じて、今後更なる地域貢献にも努めていく。</p>   |
| 運営体制 | <p>【苦情要望等の対応体制・内容】</p> <p>職員間の報告・連絡・相談を密にし、必要に応じて幹部会・全体会を開催＝要望と苦情については迅速に対応し、要件によって、協会事務局、県庁労政福祉課と協議の上慎重に対応する。</p>  | <p>・全職員が同じ対応で適正に処理出来るよう事例等もあげ、全体会議において職員に周知した。</p>   | S (優)        | <p>・安全、安心を第一に考え、利用者の立場に立った満足度の高いサービスを提供し、ホスピタリティの向上に努めた。</p>  |
|      | <p>【危機管理体制の確保】</p> <p>①イベント等の事故に備え、職員対象の救急講習会を開催(AED)<br/>           ②イベント等への看護師の常駐と地域の医療施設との連携を図る。<br/>           ③コンソーシアムによる強固なバックアップ体制のもと危機管理に努める。<br/>           ④消防訓練の実施(9月総合訓練、3月避難誘導訓練 予定)</p>                         | <p>・各分野の危機管理マニュアルに基づき下記のとおり実施した。<br/>           ・イベント時の怪我・事故等の対応として常駐看護師の配置や全職員に消防署の指導の下、救急講習(AED使用方法)を実施。<br/>           ・年2回の消防訓練実施し、自衛消防隊各班の役割を現場で実技訓練するとともに、消火器及び消火栓の使用法等、初期消火についても全員に指導した。<br/>           ・共同事業体である神姫バス(株)との連携でイベント時の緊急対応体制も確立した。</p> | S (優)        | <p>・イベント時の事故に備え、職員対象の救急講習実施等、危機管理体制の充実を図り、利用者が安全かつ快適に利用できる施設として危機管理意識を徹底し、管理運営に努めた。</p>   |
|      | <p>【県・関係機関との連携体制】</p> <p>兵庫県、豊岡市、但馬自治会、観光協会、商工会議所、商工会、全日本身体障害者野球連盟、兵庫県ソフトボール協会、但馬ドーム応援隊『ファンクラブ』等と緊密な連携を図る。</p>  | <p>・各関係機関の協力を得て運営協議会、運営協力者会議を開催し、管理運営面について各分野の専門的な提案、指導をいただいた。<br/>           ・応援隊についても各イベントにおける様々な分野でボランティアとして参加、協力をいただいた。<br/>           ・地元観光協会との連携を強化し、各種イベントにおいて協力をいただいた。</p>   | S (優)        | <p>・特色を活かした運営には、各関係機関及び地域との連携は不可欠であり、豊岡市、全但バスと連携した「豊岡ノーマイカーデーグラウンド・ゴルフ交流大会」も好評だった。今後更に連携を密にし、ドームの果たすべき役割を認識し管理運営体制の強化に努める。</p>                        |

| 評価項目 | 事業計画<br>※事業計画書・業務仕様書等の主な内容を記載  | 実績<br>※事業報告書・現地調査等の結果等の主な内容を記載  | 指定管理者による自己評価 |   |
|------|--|---|--------------|---|
|      | <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中核施設として高い利用率を誇っており、今後も但馬のスポーツの拠点とし、地域・関係機関・団体と連携・協働に努め地元の主催する事業にも積極的に参画し地域や各種団体ニーズの把握に努める。</li> <li>・大型イベントを実施し、但馬の物産、観光資源、食材コーナー等を設け、但馬の魅力を全県・全国に発信し、交流人口の増加を目指す。また、企業による展示会、長期滞在型の全国大会等も誘致するとともに、だれもが気軽に参加でき、ドームを身近に感じていただくための事業を行い存在を再度アピールできるよう計画を立てる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・但馬ドームから元気を発信と題して開催したドームフェスティバルは20周年記念式典を同時開催し、例年のフリーマーケット、ステージイベント等と合わせて各分野での新たな取り組みも好評を得た。</li> <li>・秋の風物詩として2回目となるトワイライトハロウィンを開催し、地元関係機関の協力も得て、さらに拡大したイベントになり、若年層やファミリー層に新たな利用形態としてPRに繋がった。</li> <li>・NOMOベースボールクラブについても冬期の練習会場として、平日午前中の利用が定着し、利用率向上と収入増加に繋がっている。</li> </ul> | S(優)         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の大型イベントや全国大会規模の継続誘致や営業利用団体の誘致実績に加え、今後もさらに各方面への働きかけを強化し、「天候に左右されない」「多目的で広大なグラウンド」「巨大な空間」を売りに新規事業の誘致に努める。</li> <li>・グラウンド・ゴルフクラブ等の中高齢者団体の利用定着、規模拡大により生涯スポーツの実践を通じて地域貢献にも努めた。</li> </ul> |
|      | 総合評価   |   | S(優)         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各関係機関等との連携をいっそう強化し、地域振興に努めるほか、全職員に経費削減意識の徹底に努める。また、利用者に満足度の高いサービスを提供し、リピーターの確保と新規団体の発掘に努め、さらに充実した管理運営を心がける。施設の老朽化に伴う大規模修繕に向けて、最善に努める。</li> </ul>  |

2 施設所管課による総合評価

|       |      |
|-------|------|
| 総合評価値 | S(優) |
|-------|------|

|   |
|---|
| <p>業務改善に向けた分析・指導内容(成果のあった点・改善を要する点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の維持について、職員による点検、メンテナンスによる異常の早期発見と対応など、適切な管理を行うことにより、利用者の安全確保を計っている。</li> <li>・休館日開館の実施等、利用者のニーズに合わせた施策を実施し、利用者満足度の向上に向けた取り組みができていると評価できる。</li> <li>・大規模フリーマーケットの開催など、地域住民も活用できる場を継続的に確保していくことで、地域の活性化にも貢献しているといえる。</li> <li>・ハロウィンフェスティバルやグラウンドゴルフ大会の開催、広報誌、AMラジオ、県内広域でのチラシ配布などによる宣伝活動等、利用者の取り組みに向けた施策を順次行っており、利用者数の増加に向け取り組んでいる。</li> <li>・県として、引き続き適切かつ必要な指導を行い、適切な監督に努めると共に、利用者サービスの向上のため、良好な管理運営の継続を求めていきたい。</li> </ul> |
|---|

平成 30 年度

兵庫県立丹波年輪の里

管理運営評価シート

(指定管理者: (公財)丹波の森協会 )

## 1 指定管理者による自己評価

| 評価項目         | 事業計画<br>※事業計画書・業務仕様書等の主な内容を記載   | 実績<br>※事業報告書・現地調査等の結果等の主な内容を記載   | 指定管理者による自己評価   |
|--------------|---|--|--|
| 施設維持<br>管理業務 | 【清掃】<br>・清掃管理業務委託<br>(施設の清掃業務常駐1.5名、定期清掃5名・高所清掃年6回、木の館・クラフト館事務所清掃年各3回、池等汚泥除去清掃年4回)  | ・清掃管理業務委託(30年度より3年契約)<br>年間4,101,580円(税込み)   | A(良)<br>・30年度から3ヶ年契約で入札。結果、同業者が落札。業者には、常時施設の美化に努め、誠実に履行するよう促している。  |
|              | 【設備保守管理】<br>・パソコンシステム保守管理委託業務<br>(経理システム及び事務所内ネットワーク、サーバートラブル等対応)<br>・電気設備保守管理委託業務<br>(電気設備保守月例点検)<br>・消防設備保守管理(消防設備保守点検)<br>・空調機保守業務(空調機点検 季節変換時)<br>・夜間管理業務 年192回 | ・パソコンシステム保守管理委託業務<br>年間285,120円(税込み) 増減あり<br>・空き室情報システム<br>月額5,400円 増減あり<br>・インターネットプロバイダー<br>月額2,808円<br>・電気設備保守管理委託業務<br>月額19,440円 対前年度同額<br>・消防設備保守点検<br>年2回 104,760円 対前年度同額<br>・空調機保守業務<br>年2回 142,560円 対前年度同額<br>・夜間管理 698,880円 | A(良)<br>・パソコンシステム保守管理委託業務:不正アクセス防止はじめを円滑なシステム運用に努めている。<br>・空き室情報システム管理:空室情報による県民への情報提供。<br>・電気設備保守管理委託業務:前年と同額。故障等の対応、電気に関する相談など良好である。<br>・消防設備保守点検。不良箇所を修繕し、安全維持に努めている。<br>・空調機保守業務28年度に空調機器をほぼ全機種更新した。但し、レストラン空調のみ旧設備である。<br>・夜間管理業務:職員の効率的勤務体制を維持するため、業務の閑散時間帯午後5時15分～9時15分の時間帯は、週3又は4回毎月15日程度を夜間管理を委託。 |
|              | 【植栽管理】<br>・公園管理委託業務(①苑内の樹木の剪定2回、②雑草刈作業年2回(但し、中央芝生広場を除く)、③樹木防虫剤散布2回、④除草剤散布2回等)   | ・公園管理委託業務 契約期間4月～3月<br>年間1,686,000円 対前年度同額   | A(良)<br>・公園管理委託業務:対前年と同額。昨年と同様の業者で、樹木等の状況を熟知して、適切な樹木等管理に努めている。   |
|              | 【警備】<br>機械警備委託(夜間及び休館中の無人警備)  | ・機械警備委託 (30年度より3年契約)<br>月額23,868円(税込み) 27年5月に附属棟の一部に警備配線を増設した。   | A(良)<br>同業者。異常発報にも迅速・的確に対応し、安全管理の維持に努めている。   |
|              | 小規模修繕<br>・必要に応じ修繕を行う(施設設備木部等腐朽箇所、老朽箇所修繕、機械機器定期点検等)。   | 【小規模修繕】<br>時計塔修繕工事 810,000円<br>木製遊具修繕工事 798,768円<br>雨漏り修繕工事 247,320円<br>消火栓工事 138,240円<br>合計 1,994,328円  | A(良)<br>開園から31年になり、設備機器は2回目の更新時期に来ている。運営資金と状況をみて、業務上、危険度、安全上などを加味して実施した。   |
|              | 【開館日・開館時間帯】<br>・開館9時から21時(夜間＝クラフト館・木の館予約状況に対応)・毎週月曜日休館、年末年始(12/29～1/3)休館  | ・施設管理規則に沿った運営に努めた。   | A(良)<br>・今後も施設管理規則に沿った運営に努める。  |

| 評価項目 | 事業計画<br>※事業計画書・業務仕様書等の主な内容を記載  | 実績<br>※事業報告書・現地調査等の結果等の主な内容を記載  | 指定管理者による自己評価  |
|------|--|---|---|
| 運營業務 | <b>【公共性・公平性の確保】</b><br>・毎月行事広告(神戸新聞丹波版、丹波新聞掲載)ほか情報発信<br>・ホームページのお知らせ欄掲載の情報発信<br>・スローガン「安全安心」「心地良さ」「創造をはぐむ工作指導」接客の実施                                    | ・各種イベントの実施に向けては、インターネットで情報発信や動画サイト、ブログの活用など、広報に努めている。   | A(良)<br>・インターネットを活用し、動画やブログも取り入れ配信し、成果をあげている。<br>・閲覧件数の維持に努めている。そのほか、道の駅、公共施設等にパンフレット設置をお願いしている。<br>工作キットメニュー更新を検討している。                       |
|      | 各種事業・プログラムの実施状況<br><br>・指定事業、企画事業、補助事業、林産指導事業の計画実施   | ・GWフェスタとして5月の連休に実施、利用促進に努め、特に丹波地域で活躍する木工家たちの作品に注目し「座っ展一丹波で坐る・木の椅子一」は第7回を迎え、作品に座れ、感触を実感できることから好評をいただいている。また、継続事業のアートクラフトフェスティバル、丹波の森ウッドクラフト展、グラウンドゴルフ大会等を開催した。   | A(良)<br>・充実した内容の事業を行い、利用促進に繋がった。<br>・ウッドクラフト展は、各種学校や公共施設をまわり、応募者の増対策に努めた。一般の部110点、ジュニアの部155点の応募があった。  |
|      | 利用者満足度調査結果<br>・利用者満足度調査の実施(年2回、上期及び下期に実施)①4月～9月②10月～3月   | アンケートにできる限り協力をお願いしている。27件と少ないが、満足度はまあまあの評価である。今後も利用者のためのよりよい施設づくりに努める。  | A(良)<br>・利用者から直接のご意見等をいただき、改善すべきところは、今後も改善に努めていく。<br>・なかには、不満の意見もあるが、内部協議しながら改善に努めている。  |
|      | <b>【その他】</b><br>・スローガンを掲げ、丁寧な接客業務実施<br>・きめ細かな清掃実施(清潔な施設維持)   | 県条例・県管理規則等施設管理規程に沿った運営に努めた。<br>・利用者へのサービス向上に努力。<br>・施設の安全確保と美化に努力。  | A(良)<br>・引き続き、利用者へのサービス改善に努力し、施設の安全と美化に努めている。   |
|      | <b>【利用者数】</b><br><br>平成30年度 利用件数目標 36.00件<br>平成30年度 利用人数目標 95,000人   | 26年度 利用件数 3,751件<br>27年度 利用件数 3,807件<br>28年度 利用件数 3,616件<br>29年度 利用件数 3,621件<br>30年度 利用件数 3,641件<br>* 対前年 件数 対前年 0.6%増<br>26年度 利用人数 80,973人<br>27年度 利用人数 86,858人<br>28年度 利用人数 92,707人<br>29年度 利用人数 94,636人<br>30年度 利用人数 97,078人<br>※ 対前年 人数 対前年 2.6%              | A(良)<br>・丹波管内の公的施設等にチラシやパンフレットを置いていただくよう依頼し、誘客に努めた。   |
| 利用状況 | <b>【施設稼働率】</b><br><br>会議室等 8室<br>イベント広場<br>(データ: 利用状況報告様式3号)   | 26年度 会議研修施設 19.8%<br>イベント広場 18.9%<br>27年度 会議研修施設 20.0%<br>イベント広場 22.5%<br>28年度 会議研修施設 21.1%<br>イベント広場 23.5%<br>29年度 会議研修施設 23.4%<br>イベント広場 21.3%<br>30年度 会議研修施設 22.9%<br>イベント広場 20.4%   | A(良)<br>・工作室個人は利用増、研修会議、減少が収まり、イベント広場の利用は秋のイベントが天候に恵まれ、回復した。今後とも、団体、個人客の誘客に努めていく。   |
|      | <b>【収支計画と実績の比較】</b><br><br>(収入)税込み<br>利用料金等収入見込額 1,506千円<br>指定事業/補助事業参加収入 2,655千円<br>指定管理料 73,306千円<br>県補助金 3,005千円<br>企画事業収入見込額 3,730千円<br>計 84,202千円 | (収入)税込<br>利用料金等収入 1,873千円<br>事業参加収入 2,576千円<br>県指定管理料収入 72,849千円<br>補助事業収入 3,065千円<br>受託収入 計 80,363千円<br>企画事業収入 3,791千円<br>・収入合計 84,154千円<br>(支出)税込み<br>人件費 53,669千円<br>運営費 26,694千円<br>受託支出計 80,363千円<br>企画事業支出 3,650千円<br>支出合計 84,013千円<br>収支差額 企画事業で、収支差額141千円 | A(良)<br>利用料金の増額は、レストランの開店に伴う施設使用料が増額になったためである。その他、指定事業・補助事業収入については、ほぼ計画どおりの収入となった。<br>運営費については、特に施設が老朽化しているため、修繕費が多くなるので、人件費の20%流用等により対応している。 |

| 評価項目 | 事業計画<br>※事業計画書・業務仕様書等の主な内容を記載   | 実績<br>※事業報告書・現地調査等の結果等の主な内容を記載   | 指定管理者による自己評価 |  |  |
|------|---|--|--------------|--|--|
| 収支状況 | 【経費節減に向けた取り組み】<br>・職員のコスト意識、施設維持管理を適切に行い、コスト削減・環境負荷低減に努める。  | 毎月の定例職場会議において、月例実績を職員に示し、収入増加とコスト意識の向上に努めている。  | A(良)         | ・職員間で光熱費の省力化を意識させるとともに、各自の努力を促している。  |  |
|      | 【人員の適切な配置】<br>館長(業務課長・林産指導課長兼務)<br>部長(管理課長兼務)<br>管理課:嘱託職員3 日々雇用職員2<br>業務課:課長補佐1(工作指導担当) 常勤嘱託指導員1 非常勤嘱託指導員1<br>日々雇用指導員1<br>日々雇用職員2<br>林産指導課:専門員1(非常勤嘱託)、常勤嘱託員1<br>計15名 | 総勢15名で対応している。  | A(良)         | ・勤務ローテーション・・・夜勤体制を維持するため、職員4人とシルバー人材センター2人のローテーションで対応した。<br>・最少限度の職員数で対応している。  |  |
|      | 【苦情要望等の体制・内容】<br><br>苦情要望の整理、対応   | 苦情・要望については、迅速に対応している。特に問題になるような事象は発生していない。   | A(良)         | 特に問題になる事象はないが、些細なことでも館長への報告、さらには職員会議での報告や協議を通して共通意識を持つことに努めた。  |  |
| 運営体制 | 【危機管理体制の確保】<br><br>県及び事務局への報告、応援要請連絡  | ・丹波市消防本部の指導による年2回の消防訓練を実施している。<br>・自主点検や専門業者による点検などを通じて、危険箇所は迅速に修理・改修を行うなど、危機管理に努めた。 | A(良)         | ・職員の連絡網を周知し、対応した。<br>・防災訓練を丹波市消防本部指導のもと年2回実施している。<br>・危険箇所の指摘には迅速に対応し、危険予防表示を行い、対応できるものは修理した。<br>・休館、夜間の緊急時には、職員間の連絡体制の強化が必要である。<br>・防犯カメラの設置が必要である。 |  |
|      | 【県・関係機関との連携体制】<br><br>丹波県民局、(公財)兵庫丹波の森協会(丹波の森公苑、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園)、ひょうごCSRクラブ、木材製材業関係者等と連携   | 催しやイベント、広報等に相互に協力し実施している。  | A(良)         | ・丹波の森公苑主催のイベントに出店参加している。<br>・関係機関との連携・・・催し、イベント等に協力し、対応している。   |  |
|      |   |  | 総合評価         | A(良)   | ・木育を推進する施設としての役割を全職員に周知徹底し、事業を推進した。工作室及び研修室・会議室の利用増加のため、関連ある県立施設(丹波の森公苑・ささやまの森公園・丹波並木道中央公園)にパンフレットを配布した。<br>また、指定事業収入・補助事業収入等の増加のため、新人工作指導員の育成や職員の接遇力を向上させ、来園者の増加に努めた。<br>今後も来園者に安全安心して利用してもらうよう、施設の維持管理に努めて行く。施設が30年以上経過し、老朽化しているため、維持管理に必要な修繕箇所が多く発生しており、それに伴う費用増加が今後の課題である。 |

2 施設所管課による総合評価

|       |      |
|-------|------|
| 総合評価値 | A(良) |
|-------|------|

|  |
|--|
| <p>業務改善に向けた分析・指導内容(成果のあった点・改善を要する点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設維持管理運営業務においては、委託業務の契約額の見直しなど、適正に遂行されていると言える。また、職員の点検等により、故障箇所を早期発見し、大規模な故障を予防し修繕費を削減することができている。</li> <li>・例年開催しているウッドワーカーズクラブでは地域住民を中心に多くの来訪者があり、多様な出店・出展の場を設けることで県民の自己実現の場を確保すると共に、地域活性化に大きく貢献しているといえる。</li> <li>・今後も、利用者の多様化に対する柔軟な対応と利用者の求めるサービスの提供を行い、利用者の増加に努めるよう指導していきたい。</li> <li>・県として、引き続き適正かつ必要な指導、監督に努めるとともに、利用者サービスの向上のため、良好な管理・運営の継続と、有効な広報、アンケートの実施などの取り組みを促していく。</li> </ul> |
|--|